作成日：2025 年　7 月　1 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膵切除におけるリスク因子の探索　ドレーン培養と合併症の関係性
１．研究の対象および研究対象期間 昭和医科大学病院において 2008 年 1 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日までに膵頭十二指腸切除術を施行された患者さんを対象とします。
２．研究目的・方法 膵切除は未だ感染性合併症の多い術式であり、ときに重篤な転帰をとるため、その対策が望まれています。 ドレーン監視培養は、感染性合併症が起きた際の抗菌薬の選択にも重要な情報を提供する検査です。 当該研究では膵頭十二指腸切除術後のドレーン培養の菌検出の意義と、培養に変わるリアルタイムな検査手法について検討します。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 6 月 30 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 データは診療録上のデータのみを用います。 調査項目：患者背景（身長、体重、年齢など）、手術記録、術前記録、及び臨床検査項目（CT、MRI、超音波、血算、生化学、凝固検査など）、培養検査、薬剤投与状況等。
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
６．研究組織 研究責任者　　昭和医科大学病院 消化器・一般外科　助教　平井 隆仁

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門　　氏名：平井　隆仁
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号：03-3784-8541